

1 製品及び会社情報

製品名 ; くみあい被覆硝酸石灰－**、くみあい11被覆硝酸石灰－**
別名 ; ロングショウカルー**、スーパーロングショウカルー**
会社名 ; 全国農業協同組合連合会
担当部署 ; 耕種資材部
住所 ; 〒100-6832 東京都千代田区大手町 1-3-1 JA ビル 33F
電話番号 ; 03-6271-8285
FAX番号 ; 03-5218-2536
e-mail ; zz_hiyaku-gizyutsu@zennoh.or.jp
緊急連絡先 ; 03-6271-8285

推奨用途及び使用上の制限; 肥料用及び肥料原料用。肥料用途以外には使用しないでください。

2 危険有害性の要約

製品の GHS 分類

物理化学的危険性	可燃性固体	: 区分に該当しない
	自然発火性固体	: 区分に該当しない
健康に対する有害性	酸化性固体	: 区分に該当しない
	金属腐食性物質	: 区分に該当しない
	急性毒性（経口）	: 区分に該当しない
	急性毒性（経皮）	: 分類できない
	急性毒性（吸入）	: 分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	: 分類できない
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 区分 2
	呼吸器感作性	: 分類できない
	皮膚感作性	: 分類できない
	生殖細胞変異原性	: 分類できない
	発がん性	: 分類できない
	生殖毒性	: 分類できない
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	: 分類できない

特定標的臓器毒性（反復ばく露）：分類できない
誤えん有害性：分類できない
環境に対する有害性 水生環境有害性 短期（急性）：区分に該当しない
水生環境有害性 長期（慢性）：分類できない

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語：警告

危険有害性情報

強い眼刺激

貯蔵又は取扱い上の注意

【安全対策】取扱い後は手などを良く洗うこと

保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

【応急処置】眼に入った場合は、水で数分間注意深く洗うこと。

次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は
外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当を受けること。

気分が悪いときは、医師の診断/手当を受けること。

【廃棄】内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物
処理業者に委託すること。

3 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

化学名又は一般名：被覆複合肥料

主成分	含有量 (%)	化学式	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS No.
硝酸アンモニウムカルシウム塩	80-90	$\text{Ca}(\text{NH}_4)_x(\text{NO}_3)_y$	—	15245-12-2
樹脂組成物 *1)	10 以下	—	—	—
タルク	10 以下	$3\text{MgO} \cdot 4\text{SiO}_2 \cdot \text{H}_2\text{O}$	—	14807-96-6

*1) ポリオレフィン系樹脂：ポリエチレン等

労働安全衛生法に基づく、名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物
該当なし

化学物質排出把握管理促進法に基づく対象物質
該当なし

4 応急措置

- 吸入した場合：分解ガスや粉塵の場合は、新鮮な空気のある場所に移し安静にさせ、必要に応じて医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合：水で洗い流す。
- 眼に入った場合：1. 直ちに多量の清水で洗眼する。
2. 必要に応じて医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合：必要に応じて医師の診断を受ける。

5 火災時の措置

- 適切な消火剤：多量の水
- 使ってはならない消火剤：情報なし
- 火災時の危険有害性：加熱されると有害ガス（窒素酸化物、アンモニアガス等）を発生する。
- 特定の消火方法：本製品は不燃性であるが、可燃性物質の燃焼を助勢することがあるので、保管場所を移動する。
移動が困難な時は、多量の水を注水する。
- 消火を行う者の保護：消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。
状況に応じて呼吸保護具を着用する。

6 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。作業の際には適切な保護マスク等を着用し、粉塵を吸入しないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。可燃性物質に着火した場合に備えて、消火機材を配備する。
- 環境に対する注意事項：排水溝へ流さない。
- 封じ込め及び浄化方法及び機材：掃き集めて回収する。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 発散した粉じんを吸いこまないように、必要に応じて適切な保護具を着用し、取扱い後は顔、手、口等を水洗いする。
- 接触回避 : 強アルカリ性資材、燃料その他の可燃性物質との直接混合は避ける。
- 安全取扱注意事項 : 1. 床にこぼれた粒で足元が滑り、転倒する事があるので、掃除する。
2. 容器は破損につながらないように丁寧に扱う。

保管

- 安全な保管条件 : 1. 開封のまま長期間放置すると、吸湿して固結の原因となるので、開封後は密封して保管する。
2. 直射日光を避け、高温・多湿下での保管は避ける。
3. 可燃性物質との近接は避ける。
- 安全な容器包装材料 : ポリエチレン、ポリプロピレン

8 暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : 発塵を起さぬ装置機械を使うか、局所排気装置を使用する。
- 管理濃度 : 設定なし。
- 許容濃度 : 日本産業衛生学会、ACGIH 共に、本品の設定はないが、粉塵対応として、下記の値を推奨する。

日本産業衛生学会勧告値（2020年）第3種粉塵

吸入性粉塵	2 mg/m ³
総粉塵	8 mg/m ³

保護具

- 呼吸器の保護具 : 防塵マスク
- 手の保護具 : ゴム手袋
- 眼の保護具 : ゴーグル型眼鏡
- 皮膚・身体の保護具 : 長袖作業衣

9 物理的及び化学的性質

- 物理的状态 : 固体
- 色 : 灰色
- 臭い : データなし
- 沸点又は初留点及び : 94-98℃
- 沸騰範囲
- 可燃性 : データなし

pH	: 5-7
溶解度	
溶解性（水）	: 易溶
蒸気圧	: データなし
密度	: データなし
粒子特性	: 粒径範囲 1～4mm
その他のデータ	
嵩比重	: 約 1.0

1 0 安定性及び反応性

反応性	: 可燃性物質の燃焼を助勢する。
化学的安定性	: 加熱すると有害ガスを発生する。
危険有害反応可能性	: 強いアルカリ性物質と接触して、化学反応が起き、アンモニア性窒素がガス化して、アンモニアとなって揮散する恐れがある。
避けるべき条件	: 高温、多湿
混触危険物質	: 可燃性物質、アルカリ性物質
危険有害な分解生成物	: 窒素酸化物、アンモニアガス等

1 1 有害性情報

急性毒性（経口）	: 区分に該当しない 構成成分である下記の物質について次のような有害情報がある。 ＜硝酸アンモニウムカルシウム塩＞ RatLD ₅₀ 値 : >2,100mg/kg より区分に該当しないとした。
急性毒性（経皮）	: 分類できない
急性毒性（吸入）	: 分類できない
皮膚腐食性／刺激性	: 分類できない。 構成成分である下記の物質について次のような有害情報がある。 ＜硝酸アンモニウムカルシウム塩＞ 皮膚に炎症を起こすことがある情報がある。詳細が不明なため分類できないとした。
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: 区分 2 構成成分である下記の物質について次の様な有害性情報がある。 ＜硝酸アンモニウムカルシウム塩＞ 眼の炎症を起こすことがある情報があることにより、区分 2 とした。
呼吸器感作性	: データ不足のため分類できない。

皮膚感受性 : データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性 : データ不足のため分類できない。
発がん性 : データ不足のため分類できない。
生殖毒性 : データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性（単回ばく露） : データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性（反復ばく露） : データ不足のため分類できない。
誤えん有害性 : データ不足のため分類できない。

1 2 環境影響情報

生態毒性：

水生環境有害性 : 区分に該当しない

短期（急性） 構成成分である下記物質について次のような有害性情報がある。

＜硝酸アンモニウムカルシウム塩＞

96 時間 LC50(魚類) : >100mg / l であることから区分に該当しないとした。

水生環境有害性 : 分類できない

長期（慢性） データ不足のため分類できない。

残留性・分解性 : データなし

生体蓄積性 : データなし

土壌中の移動性 : 施肥にあたっては、包材裏面の「施肥量」を参照し、詳しくは最寄りの JA にお問い合わせ下さい。

オゾン層への有害性 : データなし

閉鎖性水域では水質の富栄養化をもたらすので、排水については「水質汚濁防止法」の排水基準を守ることを。

この製品は HME に該当する。

1 3 廃棄上の注意

1. 下水、河川等に直接流さない。
2. 「廃掃法」にしたがって処理する。
3. 燃やさない（不燃物であるが加熱すると有害ガスを発生する）。

1 4 輸送上の注意

国際規制

安全データシート

整理番号：JCAM-2066
改定日：2021 年 5 月 19 日

国連番号	: 該当なし
品名	: 該当なし
国連分類	: 該当なし
容器等級	: 該当なし
IMDG (国際海上危険物規則)	
	: ハザードクラス該当なし Packing Group 該当なし
ICAO-TI(国際民間航空機関技術指針/IATA-DGR (国際航空運送協会危険物規則)	
	: ハザードクラス該当なし Packing Group 該当なし
国内規制	: 下記の法令に基づく規定の積載方法、容器等によって輸送する。 船舶安全法、航空法、港則法
輸送の特定の安全対策及び条件	
	: 1. 雨水等による水濡れ防止を行う。 2. 破袋、荷崩れ等を起こさぬよう適切な対策をとる。

1 5 適用法令

肥料の品質の確保等に関する法律 登録肥料

消防法 該当しない (法第 2 条別表/危政令第 1 条の試験結果より非危険物に該当)

労働安全衛生法

粉じん則

粉じんが発生する屋内作業場は粉じん則が適用される。

粉じんを多量に吸入した場合、肺障害等の健康障害のおそれがあるため、作業環境測定を行うとともに、その結果に基づいたリスクアセスメントを行うこと。

船舶安全法 該当しない

航空法 該当しない

港則法 該当しない

化学物質排出把握管理促進法 該当しない

1 6 その他の情報

- 1) 本安全データシート (SDS) は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。
- 2) 本文中の注意事項は通常の取り扱いを想定しておりますので、製品使用者が特殊な取り扱いをされる場合は用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。
- 3) 当社は SDS 記載内容について十分に注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。
- 4) 本 SDS の危険有害性は、以下の情報・基準を元に作成いたしました。

安全データシート

整理番号：JCAM-2066
改定日：2021 年 5 月 19 日

- ・厚生労働省「職場のあんぜんサイト」の GHS 対応モデル SDS
- ・当社原料メーカーから入手した原料 SDS
- ・JISZ7252：2019「GHS に基づく化学品の分類方法」
- ・「危険物船舶運送及び貯蔵規則」

本製品については、下記にお問い合わせください。

会社名 ；ジェイカムアグリ株式会社
連絡先 ；生産管理本部
住所 ；東京都千代田区神田須田町 2-6-6 ニッセイ神田須田町ビル
電話番号 ；03-5297-8904
F A X 番号 ；03-5297-8908
緊急連絡先 ；富士工場
電話番号 ；0545-62-2401 （夜間）0545-62-2411